

# 「青少年教育指導者講習会」

～青少年教育施設職員の資質向上を図る～

1 趣 旨 山陰・山陽の青少年教育施設（計 6 か所）の職員や教育関係者が集まり、円滑な人間関係づくり、コミュニケーション能力向上に関わる技能・ノウハウ等を学び、その後の施設での業務向上に役立てる。また、施設職員同士の情報交換を行い、繋がりを深める。

## 2 事業の概要

- (1) 期 日 平成 30 年 12 月 3 日（月）～ 4 日（火）
- (2) 場 所 島根県立青少年の家（サン・レイク）
- (3) 協 力 島根大学教育学部附属教育支援センター、鳥取県立船上山少年自然の家、鳥取県立大山青年の家、島根県立青少年の家（サン・レイク）、島根県立少年自然の家、広島県立福山少年自然の家、島根県教育庁社会教育課、鳥取県教育委員会社会教育課
- (5) 参加者 27 名
- (6) 講 師 池田 尚 氏（長崎県諫早市こどもの城 館長）
- (7) 日 程

12/3 (月)	11:00	11:30	12:30	13:00	17:00	18:30	21:00	22:00
	入所・受付	開会行事・オリエンテーション	昼食	[研修①] コミュニケーションを視点にしたワークショップ/挿話（前編）	入浴・休憩	夕食・情報交換会	就寝準備	就寝

12/4 (火)	6:30	7:30	8:00	9:00	～	12:00	13:00	13:30
	起床・身辺整理	退所点検	朝食・休憩	[研修②] コミュニケーションを視点にしたワークショップ/挿話（後編）	昼食・休憩	閉会行事	解散	

## 3 事業の内容

### ①プログラムデザインと企画のポイント

青少年教育施設の職員を対象に、職員としての資質向上や、日常の業務に役立つ内容となるよう研修を企画した。利用者対応や施設運営、プログラムの実践に実績のある講師を招き、講義・演習を行った他、それぞれの施設の特色や課題をお互いに紹介し、その課題について検討を行う機会を設けることで、参加者にとって、より実践的な内容になるよう心掛けた。

### ②運営のポイント

研修①の前半では、アイスブレイクや人間関係づくりに役立つアクティビティの演習を主に行い、知識や技能を高めた。また、研修の初日でもあるため、それぞれの施設で行っているアクティビティの紹介や実践も行い、参加者同士が打ち解けやすい雰囲気づくりに役立てた。研修①の終盤から研修

②では、各施設の現状や課題を出し合い、施設の在り方や施設職員として必要な資質について考えることにより、理解を深めていく活動を行った。研修全体を通して、活動ごとに振り返りの時間を取る工夫を行い、思考をより深化させることを目指した。

#### 4 参加者へのアンケート結果

##### (1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
講習の内容・方法	100	0	0	0
新しい知識・技術の習得について	92	8	0	0
運営面	92	8	0	0

##### (2) 参加者の声

- ・施設の方向性や、自分の立ち位置を確認できるよい機会となりました。アクティビティの手段、理論、想いなどのバランスもよく、私にとってはすばらしい研修となりました。
- ・事業や研修を進めるときに利用できそうなアイデアを学ぶことができよかったです。また、根本的な理論まで細かく聞くことができました。
- ・他施設からの刺激をもらうことで、自分の施設について考えたり話し合ったりする、貴重な機会になりました。所全体のレベルアップを図っていきたいです。

#### 5 成果と課題

##### 《成果》

- ・講師として、諫早市こどもの城の池田尚氏を迎えた。池田氏は青少年教育施設での勤務経験もあり、全国各地、様々な教育施設での講師経験も豊富なことから、参加者にとっては、日頃の業務に関連付けやすく、理解しやすい研修内容となった。アクティビティの進め方やふり返りについても、解説を交えながら、実際に体験することで、各自が今後の業務に活かすことができるものとなった。
- ・山陰地方の5施設と広島県立福山少年自然の家から職員が集まり、共に学んだり、情報交換をしたりすることを通して、施設間の連携の促進や指導ノウハウの共有などに活かすことができる、大変有意義な研修となった。

##### 《課題》

- ・各施設とも主催事業や利用者対応があり、参加できる人数に限られた。好評を得ていることから、できるだけ多くの参加者が募れるよう、各所の予定も考慮し実施時期を検討していきたい。
- ・施設ごとに、特色をもった事業を運営する機会が増えてきていることから、企画力・運営力の向上に繋がる研修を希望する声もあった。ニーズに合った研修会となるよう、来年度会場となる島根県立少年自然の家を始め、各所と検討していきたい。



講義



演習



振り返り

(担当：企画指導専門職 武田 尚志)